

愛大コーホート研究への ご参加のお願い

愛媛大学大学院医学系研究科
疫学・予防医学
三宅 吉博

愛媛大学リサーチユニット



愛媛大学では、研究機能の更なる強化のため、平成27年度から、リサーチユニット（RU）制度を創設しました。この制度は、特色ある研究分野、先進的研究 分野において優れた実績を有し、将来の発展が見込まれる研究グループを認定することにより、研究活動の更なる推進と活性化を図るものです。

リサーチユニット（RU）の募集要項はこちら

平成27年度認定



平成28年度認定



平成29年度認定



平成30年度認定



10のリサーチユニットの一つとして 採択

アジアでトップクラスの拠点形成：疫学研究ユニット

中高年を対象とした「愛大コーホート研究」を中核とし、出生前コーホート研究や難病の症例対照研究により、一次予防（疾病発症予防）に資する数多くのエビデンスを創出します。また、医療機関から電子カルテ情報を抽出するシステムを開発し、疫学データと電子カルテ由来の医療情報を突合して、「愛大コーホート研究」を革新的に進化させます。全学的に疫学を学ぶ場を供します。さらに、臨床での観察疫学研究や介入研究への応用展開を加速し、根拠に基づいた意思決定を推進できる人材育成や医農連携による新産業創出に貢献します。

＞ 概要はこちら（PDFファイル 481KB）



医療の現場では

かつては、
自身の経験や思い込み、製薬会社の接待
に基づいた医療をおこなっていた

現在は、
根拠に基づく医療
Evidence-based Medicine (EBM)
を実践しなければならない

根拠に基づく医療

Evidence-based Medicine (EBM)

の

根拠、エビデンスって何ですか？

疫学研究による研究成果です

愛大コーホート研究（20年間追跡）は**革新的**

質問調査票（70ページ）

血液、遺伝子検体

4.5～9万人目標：R2以降実施予定

リンケージ

質問調査票（70ページ）

血液、尿、遺伝子検体、独自の健診

面接による認知機能検査

八幡浜市798名(H27)、内子町347名(H28)

愛南町・西予市1275名、P社223名(H29)

西条市1,182名、西条市役所106名、I社111名、

S社88名、東温市役所146名、愛大病院86名、

K歯科95名、D社25名(H30)

四国中央市、新居浜市、東温市(R1)、松山市(R1-3)

今治市、砥部町、伊方町、鬼北町、松野町、宇和島市(R2)

伊予市、久万高原町、松前町(R3)

計1万人目標

医療情報抽出
介護情報
がん登録
死亡

リンケージ

20年間、追跡します

- 毎年、紙1枚で、1年の間に、新たに診断を受けた病名、新たに投薬が始まったかどうかをお伺いします。
- 病院に問い合わせます。
- 病院の電子カルテ情報や死亡診断書等の医療保健福祉に関するあらゆる公的データをいただきます。
- 5年後、10年後、15年後の節目に、認知機能検査等詳しい調査ができれば、いいなあ・・・

有能な医師はエビデンスを創出したい

独自のデータベースを構築し、
数多くのエビデンスを創出できる
土台の整備

**有能な医師を愛媛に呼び込み、
世界に愛媛発のエビデンスを発信**

連絡先

愛媛大学大学院医学系研究科 疫学・予防医学講座

教授 三宅吉博

准教授 田中景子

研究事務局

菅 絵梨

〒791-0295

愛媛県東温市志津川

愛媛大学大学院医学系研究科

疫学・予防医学講座

TEL: 089-960-5283 FAX: 089-960-5284

Email: epi-res@m.ehime-u.ac.jp